

総 説 (平成18年度横浜市立大学医学会賞受賞研究)

## 安全な肝切除の確立を目指して (肝臓外科15年間の歩み)

渡 會 伸 治

横浜市立大学大学院医学研究科 消化器病態・肝臓移植外科学

**要 旨**：人体の最大の代謝臓器である肝臓は，1980年代以降外科治療の対象になったが，他の消化管臓器と比べ合併症が多く，死亡率も高かった．我々は1992年以降種々の試みにより合併症を回避する方法を考案し，治療成績を向上してきた．